バリアフリーフェスタかながわについて

資料２

1　目的

神奈川県バリアフリー街づくり推進県民会議（以下「県民会議」という。）では、障がい者、高齢者、妊産婦、乳幼児連れの方などが安心して生活し、自らの意思で自由に移動し、社会に参加できる街づくりを進めている。

　その一環として、県内の障がい者等の関係団体や事業者・ＮＰＯ団体、県民からの公募委員、行政の協働により、「バリアフリーフェスタかながわ」（以下「フェスタ」という。）を開催している。

　このフェスタは、県民会議内に設置された実行委員会が企画・立案したもので、その目的は、県民会議からの提案書に基づく取組内容を周知し、それらについて県民から意見を収集し、各主体の取組みに反映させるとともに、バリアフリーの街づくりを体感してもらうことで、バリアフリーの街づくりに対する理解を深めることにある。

〔企画・立案に当たっての考え方〕

・　県民会議の理念に基づき、県民・事業者・行政が協働で実施する。

・　継続的にフェスタが開催できるよう、持続的かつ安定的な開催形態を意識して準備を進める。

・　県民から広く意見を募るよう、開催会場は誰もが自由に参加できるような場を設ける。

・　当事者団体、事業者団体等からの参加を積極的に促す。

・　県民から多くの意見をもらえる形式とする。

・　来場者が気軽・身近に感じられる参加型・体験型の内容を中心としつつ、来場者が「大変だね」「かわいそう」では終わらない、バリアフリーの必要性、支えあいの心を自然と身につけるものとする。

・　ユニバーサルデザインの考え方を踏まえ、来場者の誰もが安全・安心に参加できるように配慮したイベントとする。

・　フェスタ全体で統一的なテーマを設定して、各団体のコーナー運営に取り入れる。

・　何が障害を作り出しているのか、自分達に実際にできることは何か、など気づきを与えられるような工夫を各コーナーや事務局コーナーなどで行えるよう、意識して工夫を図る。

２　令和５年度の開催について

(1) 日　時

令和５年11月４日（土）　11：15～17：00

(2) 場　所

そごう横浜店９階（センタープラザ、新都市ホール、新都市ホールホワイエ）、そごう横浜店地下２階正面入口前（新都市プラザ）

（横浜市西区高島2-18-1）

(3) テーマ

「だれひとり取り残さない、ともに生きる社会に向けて～バリアフリーとSDGｓ～」

(4) 準備状況

2022開催を踏まえた対応の方向性に基づき、準備を進めている。

 ア　目的・考え方、開催場所

…商業施設等での開催で、バリアフリーになじみの薄い方や若者にも参　加してもらえるよう当日の周知等を工夫

新たにそごう横浜店地下２階正面入口前（新都市プラザ）を会場に加え、体験型のコーナーを一部移すなど、より多くの人に働きかける工夫を図る。フェスタの概要や楽しい雰囲気が伝わり、９階に上がってもらうための呼び水とする。

⇒

イ　集客・周知

　　…当日の効果的な集客方法、参加団体連携による周知、ＰＴ活動、専門学校との連携等の検討

子どもや若者の来場を促すため、県内小中学校や県立高校、特別支援学校に対する周知や、新都市プラザでの子ども向けコーナーの設置などを行う。

また、介護系専門学校と連携し、周知を依頼する。

　　　⇒

ウ　事前準備

　　　…チラシやホームページ等の準備を早めに行えるよう調整

　　　⇒

　県内イオン各店舗での配架依頼他、チラシ及びホームページでの周知について対応中。

エ　運営体制

　　　…ステージイベントの時間帯やコーナー工夫等の検討

　ステージ企画として、障害当事者団体によるライブ演奏、「ユニバーサルデザインと文字」についての特別対談を行う。

来場者を各コーナーにバランスよく誘導するため、フェスタ参加団体や事業者より景品をご提供いただき、スタンプラリーを実施する。

　　　⇒

オ　同時開催（介護フェアinかながわ）

　　　…引き続き同時開催としさらなる連携を検討

　事前周知やスタンプラリーの合同実施など、相互に連携を図っていく。

　　　⇒

カ　良かった企画や工夫

　　　…体験型の企画が好評であり引き続き努めていく

　　　⇒

　県民会議構成団体を含む19団体が参加し、15コーナーを企画、運営を行う。（参考資料２－１広報用チラシを参照）

【参考１　各団体からご提供いただける景品一覧】

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| NO | 団体名 | 提供可能な景品 | 個数 |
| 1 | (一社)神奈川県タクシー協会 | オリジナルシャープペンシル | 100 |
| 2 | (一社)日本民営鉄道協会 | 各鉄道事業者のクリアファイルやボールペンなど | 365 |
| 3 | NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構 | カラーバリアフリーちょっと塗りペイント | 50 |
| 4 | 認定NPO法人神奈川子ども未来ファンド | 光るブレスレット(100)、スプーン(100)、ミストスプレー(100) | 300 |
| 5 | 神奈川県生活衛生営業指導センター | トートバック(50)、クリアファイル(50)、ボールペン(100) | 200 |
| 6 | 神奈川県旅館ホテル生活衛生同業組合 | 箱ぴた宿泊補助券10,000円 | 2 |
| 7 | 日本司法支援センター神奈川地方事務所（法テラス神奈川） | ポーチふせんセット(100)、ポケットルーペ(100)、ボールペン(100) | 300 |

【参考２　周知先について】

（１）広報用チラシ送付

・　バリアフリーフェスタ実行委員会関係団体

・　県内小中高校、私立学校、特別支援学校（子ども教育支援課、高校教育課、私学振興課、特別支援教育課を通じて周知）

・　県内各市町村社会福祉協議会

・　県内各市町村バリアフリー街づくり条例主管課

・　各特定行政庁・土木事務所

・　各保健福祉事務所

・　一都三県福祉のまちづくり担当課

・　そごう横浜店、西武東戸塚、イオン（県内25店舗）

　　その他、県内福祉系専門学校や介護人材確保推進会議で配布。

（２）県ホームページ

　今年度のイベント開催のお知らせを更新した。

＜ＵＲＬ＞ http://www.pref.kanagawa.jp/docs/n7j/cnt/f6880/

（３）県のたより10月号

（４）デジタルサイネージ（そごう地下）

（５）ＳＮＳ

　　　下記のとおり実施予定。

・　Ⅹ（Twitter）：神奈川県庁地域福祉課（＠kngw\_chifuku）

かにゃお（神奈川県NPO協働推進課）（＠kanyao\_NPO）

ともに生きる社会かながわ憲章【公式】（＠tomoikitaro）

・　Facebook　　 ：かにゃおFacebook

・　Instagram　　：かながわ感動介護大賞